



## 「2024年度営業関係施策(その1)について」提案を受けるその②

### 【主なやりとり 前回からの続き】

#### ≪北千住駅について≫

組合：北千住のように、みどりの窓口をすぐに常設化できる駅は、一部波動化を実施した柏と蒲田か。

会社：判断してすぐに取り掛かれる駅としてはその通りだ。他の駅は出札縮減と同時に販売機器を撤去している。

組合：この間も私たちは、出札縮減について「やりすぎではないか」「お客さまや現場社員の目線に立っていない」と一貫して主張してきた。施策の失敗だと社員や世間から指摘されてもしょうがないのではないか。

会社：労使間のこれまでの議論についてはしっかり受け止めている。

組合：チケットレス化をどう進めていくかを合わせて示してもらわなければ、方向性が見えない。今後も労使議論を継続して行っていく。

#### ≪東京駅について≫

組合：なぜこのコーナーが対象なのか。

会社：みどりの窓口については発売状況を見た。他のコーナーで早朝～21時以降の対応は可能と判断した。

丸の内中央改札は東京駅の中でもお客さまの流動が少ないことから判断をした。

組合：作業ダイヤは変わるのか。

会社：東京駅には各コーナーを渡る作業ダイヤがあるため、そこも含め変更が発生する。

組合：無人時間帯はインターホン対応か。その際の対応箇所とトラブル等で現地に行く際の所要時間はどうか。

会社：インターホンを設置し、丸の内北改札の対応を考えている。現地に行く際の所要時間は3分を想定している。

#### ≪水道橋駅について≫

組合：完全無人化するのか。

会社：朝…7:30～9:30、夕方…17:00～19:00、近隣施設でのイベント開催時は社員の配置を考えている。時間については現場が検討するため変更となる可能性がある。

組合：それ以外の時間帯の対応はどうか。

会社：本屋で制御、対応することになる。現地に向かう際の時間は混雑状況によるが約2分を想定している。

組合：どのような教育を行うのか。

会社：サポートコールの教育は訓練センターで行う予定。首都圏本部で調整をしていく。

組合：社員がいる改札でも常時立哨をしない駅が多い。常時立哨はやめろと現場に指示をしているのか。

会社：そのような指示は会社としては出していない。

組合：改札が呼び出しボタン対応になって、お客さまからのご意見は増えているのではないかとある大ターミナル駅では、有人改札なのに呼び出しボタンではなく、インターホンが設置され、裏に社員はいるのに、頑なに出てこない。と列ができてインターホン対応…という駅も実際に見ている。

会社：主張は受けとめる。

お客さま視点(利便性)と働く私たちの「安全・健康・ゆとり」ある職場を創るために今後申し入れを行ってまいります！